

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

経営には生身の人間としての根源的な力が必要不可欠

古森 重隆 (富士フィルムホールディングス会長・CEO)

1. 大企業という組織全体を目的に向かって導いていく戦略は、もちろん必要だ。しかし、時には力づくでも組織を引っ張っていく「リーダーシップ」や、「生身の人間としての情熱や責任感」も不可欠だ。富士フィルムの経営改革を達成するために、私は全身全霊を傾けたつもりだ。会社を救うためには、判断を間違えるわけにはいかなかった。寝ても覚めても会社のことを考えて、眠れない日もあった。ギリギリまで悩み抜いても、結論が出ないこともあった。
2. 経営は数字で判断するものだ。MBA流の、数字を基盤として論理に基づく経営手法は確実に役に立つ。しかし、それだけでは単なる「HOW」にすぎない。自動車を運転するとき、基本的な手順やメカニズム、交通の法規を承知していなければならないのと同じだ。なくてはならないが、それだけでは役に立たない。どこに行きたいのか、どうやってそこにたどり着くのか、という根源的な問いに答えてくれるものではないからだ。
3. 経営もメリットだけでは成り立たない。人間としての使命感や情熱、ロマン、創造力、そしてひらめきなど、生身の人間としての根源的な力が不可欠なのだ。企業経営者として何を成し遂げるかという「WHAT」の命題を解くためには、創造力と論理で導き出した目的地に集団で引っ張っていく、生身の人間の力が欠かせない。

(参考:「日経ビジネス」2017年7月24日号)

海外事情

チャレンジする若者が集まる街 (ポートランド)

1. 全米で今、人々が最も移り住みたい街はニューヨークでもシリコンバレーでもなく、西部のオレゴン州にあるポートランドなのだという。生活費がリーズナブルであること、気候が穏やかで自然にあふれていること、しかも起業を促す街の空気が若者たちを引き付けている。人口は60万人余り。日本でいえば、船橋市(約62万人)や鹿児島市(約60万人)などの都市だが、その存在感は日本の同等規模とは比較にならないらしい。
2. ポートランドの人々の特徴は、起業家精神にある。ユニークなのは、競争相手とも積極的に知見を共有し合うことで、つまりコラボレーションの精神が根付いている。日本では、地方創生が叫ばれているが、そこに個性的でクリエイティブな人たちが住んでいるかどうかが最終的には重要だ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2017年8月12日・19日号)

経営者のための理念・哲学

改革には忍耐と時間が必要

童門 冬二 (作家)

1. 私は改革は、「三つの壁への挑戦」だと思っている。モノの壁、仕組みの壁、心の壁を壊すことだ。特に先入観や固定観念といった、心の壁を崩すのは難しい。相手を悪人視してその非をとがめたり、非難したりする。それに対抗して正義ヅラするのは禁句だ。太宰治のいう「微笑もて正義をなせ」が大事だ。でないと相手は余計かたくなる。改革の成否はこの心の壁を破壊できるかできないかが左右する。
2. ほかのことに目もくれず、チョコレート作りに専念するジュリエットのところに、少しずつ住民が寄りつくようになる。これは待ったかいがあったということで、改革には、まず忍耐と時間が必要だということを教えられる。

(参考:「週刊東洋経済」2017年7月29日号)

古典に学ぶ

商才は論語で養う

「その士魂を養うには、書物という上からはたくさんあるけれども、やはり論語は最も士魂養成の根底となるものと思う。それならば商才はどうかというに、商才も論語において充分養えるというのである。その商才というものも、もともと道徳を以って根底としてのものであって、道徳と離れた不道徳、欺瞞、浮華、軽佻ぎまん けいちようの商才は、いわゆる小才子、小利口であって、決して真の商才ではない」

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 図書刊行会)